

水環境における懸濁態挙動に関するワークショップ

日時 平成 30 年 3 月 26 日(月曜日)

会場:筑波大学 3A 棟 3A209 講義室 (住所)茨城県つくば市天王台 1-1-1

聴講 無料

プログラム

9 時 30 分 開場

10 時～12 時

座長 京藤 敏達

貯水池・河口域における懸濁粒子の動態と底質・生態系への影響について

横山 勝英

首都大学東京 都市環境学部 都市基盤環境コース

ダム貯水池では懸濁土砂がストークス沈降速度に従わずに長期間滞留すること、河口域では土砂と有機物がフロックを形成して沈降し、粘着性の高い底質を形成すること、植物プランクトンの生産と死滅、濁りが相互に関係していることなどを解説いただく。

12 時～13 時 昼食

13 時～13 時 40 分

座長 横山 勝英

泡によって凝集する有機物粒子量の評価

和田茂樹

筑波大学 下田臨海実験センター

泡で凝集が起こることを実験的に検証し、さらに自然のプランクトン群集へ栄養を添加した際の増殖に伴う泡の凝集化の量的変化を解析した。

14 時～

座長 小林 幹佳

Hydrodynamic Properties of Fractal Floc

Feng Xiao

Research Center for Eco-environmental Sciences

Chinese Academy of Sciences,

Numerical as well as experimental analysis on the hydrodynamic property of flocs obtained using PIV technique is reported. Permeability of flocs during sedimentation will be reported.

Strength and Structure of Na-Montmorillonite flocs studied in Couette Chamber

Di Chuan

Graduate School of Life and Environmental Science, University of Tsukuba

15 時～

Discussion and mixing time

本ワークショップは科学研究、基盤研究(S) フロツキュレーション解析に基づく環境界面工学の展開 16H06382 の補助により実施します。

世話人 足立泰久 (adachi.yasuhisa.gu@u.tsukuba.ac.jp) 内(4862)